

## 閉会の挨拶



石川工業高等専門学校 校長  
須田 義昭 氏

本日は、四人の先生方に、それぞれの違った立場から女性技術者の活躍に関する素晴らしいご講演をいただきまして誠にありがとうございました。

最初の基調講演は、(株)デンソー技研センターの磯貝恵美子先生から「企業で女性技術者の皆が活躍できるためには」ということで、最初に道を切り拓くためには、常に努力や研鑽が大切だということと、女性の継続的な活躍とそれを推進することが、企業の持続的な成長には必要であるということをお話しされました。また、発信力、リーダーシップ力ということで、女性は特に細やかな配慮ができるということ、女性ならではの視点や感性、強い意志が女性技術者には期待されているということをお話しされました。

大学生に向けてのアドバイスとしては3つ挙げられ、キャリアデザイン形成、感性・視野の拡大、さらに、チームワーク力の醸成が大切ということでした。この感性を磨くためには読書が大切だということをお話しされ、本校の学生にも本を読むことを是非薦めていきたいと思いました。

また、女子会についてお話しされ、女性技術者のいろいろな悩み事を聞くシステムを作られ、その後、シナジーラボに発展されているということで、本校でもそのようなものが作れればと思いました。

女性技術者が活躍するためにすべきことについては、ほとんど男性も同じであろうと思われました。

特に思いやりやポジティブ思考、そして、四国遍路でご経験されたお話しについては、非常に感銘を受けました。

次に招待講演では、(株)本田技術研究所四輪 R&D センターの塚田竹美先生から「リケジョ～女性エンジニアの懸け橋としてLAJができること」でお話しいただきました。実はLAJについては、私も初めて知りました。日本機械学会の中の女性のアソシエーションということですが、高専にも国立高専機構の中に男女共同参画推進室がありまして、女性技術者を育成しようということで、講習会や交流会などを実施しておりますが、塚田先生がお話しされたLAJの取り組みが、いろいろと活かせるように思いました。

特に女子高校生向けのサマースクールが徐々に増えていったことや、出前講義では大学の教員と企業の技術者とで実施していることや、アンケートについても詳しくご説明いただき、これらの取り組みが女性技術者の今後の増加に繋がることを期待しております。

次に金沢工業大学大学院工学研究科博士前期課程1年の七尾圭香さんには「金沢工業大学における女子学生の現状と課題」ということで、高校時代はボート部で頑張っていて、今は袴田研究室で熱心に研究に取り組んでいるということで、よく頑張られているなあと思いました。

また、女子学生の現状を学内編、生活編、修学編ということで詳しくお話しいただき、送迎バスに空気清浄機が必要なことや、ライブラリーセンターの女子専用フロアのことなど素晴らしい施設についてもお話しされました。今後も将来の夢に向かって頑張っていて、企業に入ってから博士号取得を目指して欲しいと思います。

最後に、YKK株式会社の見角裕子先生から「YKKにおける女性技術者への期待」ということでお話しいただきました。「工学は、『できない』ことを『できる』に変える学問である」とお話しされ、企業人、博士、客員准教授、そして母親と何役もこなして、本当に頑張っているらっしゃると感心しました。

また、YKKの精神であります「善の巡環」、最高の品質を保つためには、最適な材料を自ら作り、設備も自社開発するというので、先生は金型の分野で、ご自身の研究をなされながら、育児休業後に博士号を取得されたということで凄いことだと感心しました。

産休、育児休は社会生活のブランクではないということ、これを新たなチャレンジの転機として、チャレンジ精神の大切さを実践されことに、非常に感銘いたしました。機会があれば本校でも是非ご講演いただければと思いました。

ここで、石川高専について簡単にご紹介いたします。石川高専は全学生が約1,100人で、約25%の265人が女子学生です。進路としては55%が就職し、残

りが進学します。地元石川県内の就職者が 40～50%で、就職率はほぼ 100%、もちろん女子学生の就職率も 100%です。

本校ではこれまで女子学生に対する講演会は実施していませんでしたが、今回、香川高専教授（高専機構併任教授）の内田由理子先生による女子学生に対するキャリア講演会を初めて開催することになりました。

最後になりましたが、本日のこのような多方面の様々な立場からの講演者による女性技術者の活躍に関する大変有意義なご講演に感謝致しますとともに、本シンポジウムを企画していただきました金沢工業大学の大澤敏学長先生に御礼を申し上げまして、私の閉会の挨拶とさせていただきます。本日はどうも有難うございました。



平成 28 年 12 月 2 日  
(於：酒井メモリアルホール)